

南島原市の将来を考え、今動き出す



この子たちの将来のため、
私は行動します!!

南島原市長

藤原 未幸

端とする欧州の通貨危機など、日本にも大きな衝撃が押し寄せています。

また、国内においても東日本大震災、原発事故、過去最高の円高など、まさに日本が大きな国難にみまわれました。

南島原市においても、長期的な景気低迷により農業をはじめ、漁業、製造業、商業や建設業など、全ての業種が大変厳しい状況に直面しています。

また、高校・大学卒業見込み者の就職内定率は、昨年よりさらに悪化すると予想される中、若者の市外流出が続くなど、市を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況です。

南島原市の将来を考え、今動き出す

しかしながら、このような厳しい時代だからこそ「ピンチをチャンス」と捉える必要があると、私は考えています。今こそ、市民と行政が心をひとつにして、

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政に対して温かいご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年は、未曾有の東日本大震災ならびに度重なる台風の発生など、日本を揺るがす大災害が多く発生しました。東日本大震災に際しましては、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、宮城県南三陸町をはじめ被災地に対し、官民一体となった「南島原絆プロジェクト」支援活動を行ってまいりました。市民の皆

さまにお寄せいただいた義援金、救済物資、炊き出しや和太鼓による激励など、多くの心温まる支援活動に対し、厚くお礼を申し上げます。

今後も、被災地の日も早い復興を願い、本市の身の丈にあった息の長い支援を続けてまいりますので、これまで以上のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

国難の日本・厳しい南島原

国際化社会の中で、昨年はさまざまな出来事が起こりました。タイの大洪水による日本企業の工場の操業停止、ギリシャを



高台から口之津港を望む

困難を克服していかなければなりません。

市の特性や恵まれた資源、歴史などを掘り起こし、全国に向け広く情報発信してまいります。

私の役目は、市民の皆さまと一緒に頑張ることはもちろん、皆さまが思い切り頑張ることができ、安心して暮らせるように支援を強化し、また、その環境をつくり上げることだと考えています。

そして、その実現のためには、市民一人ひとりが主人公として市政に関わっていくことが重要です。皆さまの知恵と行動が結集したとき、南島原市は一体となり大きく飛躍するものと確信しています。

そこで、心と体の活動の源となる力「元氣」をキーワードに、「人が元氣になる」、「産業が元氣になる」、「まちが元氣になる」そして「市役所が元氣になる」を基本理念に、質の高い行政サービスを継続していくために、引き続き行財政改革を進めてまいります。南島原市の10年、20年先の将

来を見据え、「南島原市に生まれてよかった」、「南島原市に住んでよかった」、「合併してよかった」と思ってもらえるまちづくりに向け、次の各施策に全力で取り組んでまいります。

『人が元氣になる施策』

健康、福祉、子育てのさらなる充実に向け、福祉タクシー制度の見直しや多子世帯の保育料の軽減を行います。また、健康づくりのための施設の整備に取り組みます。

『産業が元氣になる施策』

基幹産業である農業が元氣になるために農地基盤整備補助制度の見直しを行います。また、働く場の確保のため、積極的に企業誘致を推進します。

『まちが元氣になる施策』

市道と農道の整備、国道251号線のバイパス建設、加津佐前浜周辺整備、有馬商業跡地の再利用、高速通信網の整備、防災無線の整備、給食センターの拠点整備など、直

接・間接的な経済効果を考えながら、慎重かつ大胆に取り組めます。

このほか、島原半島世界ジオパークの顕彰やPR、有効活用の推進のほか、世界遺産登録実現に向け、積極的に活動を行っていきます。

『市役所が元氣になる施策』

市民の皆さまに元氣で安心して暮らしていただくためには、まず市役所が元氣にならなければなりません。そのため本庁部門の効率的な配置を検討し、市民の皆さまが利用しやすい組織体制をつくりま

民協働による口之津港開港450年記念事業を開催します。本市が持つさまざまな資源や歴史を生かし、市を挙げたイベントとして「南島原市」を国内外に広く発信することで、市の活性化につなげ、市としての一体感の醸成が図られるものと期待しています。

メインイベントは9月22日(土)、23日(日)を予定しており、それまではさまざまな関連イベントを予定しています。市民総参加の記念事業となるよう、皆さまのご協力をお願いします。

年頭にあたり取り組みの一端を述べさせていただきましたが、今、南島原市は次のステージへ大きな一歩を踏み出しました。この歩みをより力強く、確かなものにするためにも市民の皆さまのいっそうのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

口之津港開港450年記念事業

口之津港開港から、今年はいは450年の大きな節目を迎えます。この記念すべき年に市